

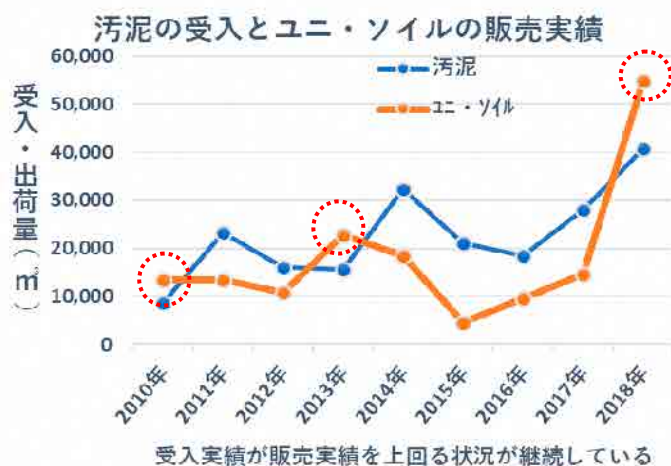
<b>国土交通大臣賞</b> <small>「事業所・地方公共団体等」分野</small>	受賞者名
	<b>アイレック新潟株式会社</b>
	取組の実践場所 <b>新潟県上越市</b>
受賞テーマ <b>『建設汚泥を100%資源化した製品『ユニ・ソイル』の製造によるリサイクルの促進と資源循環への取り組み』</b>	

受賞者は、建設工事や掘削工事に伴って排出される無機性汚泥（リユース・再利用）を改質し、特殊 固化材を添加することで、再泥化しない100%再生資源化製品の『ユニ・ソイル』を販売している。環境負荷がなく安全で再泥化しない特性により土木資材等として利活用され、盛土材、埋戻し材のほか、築堤材、路床材、防草材等、使用用途拡大の結果、近年の『ユニ・ソイル』の販売量が汚泥の受入量を上回る状況が継続している。（資料 図-1を参照）  
また、技術開発と実績を業界で共有し、業界の製品の品質向上に寄与している。

取組のポイントは、次のとおりである。

- ① 汚泥処理時の特殊固化材の技術開発並びに改良を重ね、CBR（地盤試験の一つ）値の改善を図った結果、『ユニ・ソイル』は、主に道路拡張や地盤改良、河川護岸堤防築堤工事等の現場に使用用途が広がった。強度特性と品質維持（リデュース）による安定供給が可能となり、新たに防草材としても活用されている。（参考画像を参照）
- ② 東日本大震災復興工事に伴い、岩手県陸前高田市において、土木資材の流通が滞る中、現場でユニ・ソイルを製造し、復興資材として提供してきた。
- ③ 陶芸家とのリサイクルコラボレーション事業をスタートさせ、「リサイクル材を活用した陶器」を製品化するなど、リサイクルへの啓発やイメージアップを図り、社員へのモチベーションアップにも貢献している。
- ④ これまで培ってきた技術と実績は、「日本リ・ソイル工業協同組合」において共有し、これからも業界において品質向上や循環型社会の構築等に役立てられるよう努めている。

【 汚泥と受入の相関関係 】 資料 図-1



【 使用実績 】 (参考画像)



工事名 新潟県上越新井線道路改良工事  
 使用場所 法面・盛土・防草材  
 発注者 新潟県

今後、様々な建設汚泥の発生状況にマッチングさせた処理方法、リサイクル材『ユニ・ソイル』利用方法の提案を行い、保有技術の活用や新たな技術開発に取り組み、継続していくことで、資源循環型社会の構築に貢献すると共に環境保全とリサイクル推進を通じて、住みよい地域づくりに邁進していこうとしている。